

令和6年度の業務実績に係る小項目評価(案)

☐

: 市長の評価において昨年度と異なる評価、
法人と異なる評価及び計画を下回っている
とした評価
() : 昨年度の評価

区 分	大項目	小項目		P	法人 自己評価	市長による 評価(案)	小項目評価のコメント等 ※ 括弧書きは補足事項
第1 市民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上に関する目標を達成するための とるべき措置	1 市立病院として担うべき医療 大項目評価「3」 「3」～「5」の小項目 評価の割合 95.73% (22項目／23項目)	(1) 広島市民病院	ア 救急医療の提供	8	4 (3)	4 (3)	救急患者数が増加する中で、受入困難事案の受入れが増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・ 受入困難事案の受入人数実績 令和5年度：333人、令和6年度：390人
			イ がん診療機能の充実	8	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 周産期医療の提供	10	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ 災害医療の提供	10	3 (4)	3 (4)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			オ 低侵襲手術等の拡充	11	4 (3)	4 (3)	内視鏡下手術件数が安定的に増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・ 内視鏡化手術件数実績 令和5年度：448件、令和6年度：512件
			カ 中央棟設備の老朽化への対応	12	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(2) 安佐市民病院	ア 救急医療の提供	13	4	4	救急外来において、入院を要するが急性期治療が必要ない患者について、地域の医療機関への下り搬送を促進し、安佐市民病院での受入機能を確保したこと等により、昨年に続き、多くの救急車及び救急患者を受け入れているなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・ 患者受入実績 救急車 令和5年度:6,519台⇒令和6年度:6,356台 救急患者 令和5年度:12,822人⇒令和6年度:12,637人
			イ がん診療機能の充実	14	4	4	LECS等の全国で限られた医療機関でしか実施できない先進的な難易度の高い手術を実施するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した
			ウ 災害医療の提供	15	3 (4)	3 (4)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ ヘき地医療の支援	16	4 (3)	4 (3)	新たに2つの医療機関に医師を派遣するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・ 医師等派遣実績 令和5年度：4医療機関、令和6年度：6医療機関
			オ 低侵襲手術の拡充等	17	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			カ その他	18	4 (3)	4 (3)	閉院日入院の促進や助産師外来の拡大など、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した ・ 閉院日入院実績 令和5年度：345件⇒令和6年度：383件
		(3) 舟入市民病院	ア 小児救急医療の提供	20	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 小児専門医療の充実	21	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 感染症医療の提供	21	3 (4)	3 (4)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ 病院機能の有効活用	22	2	2	広島市民病院から受け入れた紹介患者数が大幅に増加するなど、一定の成果はみられるが、病床利用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 ・ 病床利用率 年度計画：73.4%⇒実績：65.7%
			オ 障害児（者）の受入体制の充実	23	4	4	医療型重症心身障害児（者）の短期入所利用者数及び新規契約者数が昨年より増加するなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 ・ 医療型重症心身障害児（者）短期入所実績 令和5年度：700人 ⇒令和6年度：778人
			カ 地域に密着した医療機能の充実	23	4 (一)	4 (一)	総合診療科を新設し従来より広い疾患に対応したことにより内科の外来患者数が増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 ・ 内科の外来患者数実績 令和5年度：15,330人、令和6年度：16,207人
		(4) リハビリテーション病院・自立訓練施設	ア 総合的なリハビリテーションサービスの提供	24	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 回復期リハビリテーション医療の充実	25	3	3 (2)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 在宅復帰率が年度計画を下回っているが、重症率が昨年より上昇する中で、在宅復帰率を向上させるなど、一定の成果はみられるため、全体としては年度計画を順調に実施していると認められる。 ・ 重症率（％） 令和5年度実績：48.2⇒令和6年度実績：48.4 ・ 在宅復帰率（％） 年度計画：85.0⇒実績：81.8（令和5年度：80.4）
			ウ 自立訓練施設の利用促進	29	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ 相談機能の充実と地域リハビリテーションの推進	30	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			オ 災害時の市立病院間のバックアップ機能の強化	32	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。

区 分	大項目	小項目		P	法人 自己評価	市長による 評価(案)	小項目評価のコメント等 ※ 括弧書きは補足事項
第1 市民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上に関する目標を達成するためのべき措置	2 医療の質の向上 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% (9項目／9項目)	(1) 医療需要の変化、医療の高度化への対応	ア 医療スタッフの知識の習得や技術の向上	33	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 資格取得の促進	35	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 医療機器の整備・更新	36	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(2) チーム医療の推進		37	4 (3)	4 (3)	各病院とも取組内容を工夫し、安佐市民病院の高齢者総合支援チームやリハビリテーション病院の摂食・嚥下チーム等において、介入件数を着実に増加させているなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 〔・高齢者総合支援チーム介入実績 令和5年度：1,169件、令和6年度：1,219件 ・摂食・嚥下チーム支援実績 令和5年度：630件、令和6年度：704件〕
		(3) 医療の安全確保の強化	ア 医療安全対策	48	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 院内感染防止対策	49	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(4) 医療に関する調査・研究の実施		51	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(5) 災害医療体制の充実		53	3 (4)	3 (4)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(6) 感染症医療体制の充実		54	3 (4)	3 (4)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	3 患者の視点に立った医療の提供	(1) 病院情報・医療情報の発信		55	4 (3)	4 (3)	安佐市民病院においてSNSのフォロワー数が7,000人を超えているなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 〔・過去のフォロワー数 令和5年6月時点：約1,500人〕
	大項目評価「3」 「3」～「5」の小項目評価の割合 85.7% (6項目／7項目)	(2) 法令・行動規範・倫理の遵守		58	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(3) 安心で最適な医療の提供	ア 患者及び家族への相談支援	59	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ インフォームド・コンセントの徹底	61	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ セカンドオピニオンの実施	61	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			エ クリニカルパスの活用拡大	62	2	2	舟入市民病院以外の3病院のクリニカルパスの適用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 〔・クリニカルパス適用率 広島市民病院 年度計画：54.0%⇒実績：52.9% 安佐市民病院 年度計画：54.0%⇒実績：51.9% リハビリテーション病院 年度計画：63.0%⇒実績：56.5%〕
		(4) 患者サービスの向上		63	3 (2)	3 (2)	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 〔中間層の回答が増加したことにより、リハビリテーション病院以外の3病院の患者満足度が年度計画を下回っているが、昨年度より「満足」と回答した割合が増加しており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められる。〕
	4 地域の医療機関等との連携 大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% (9項目／9項目)	(1) 地域の医療機関との役割分担と連携	ア 病院の役割分担に基づく紹介、逆紹介の促進等	68	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 〔舟入市民病院の患者紹介率及び患者逆紹介率が年度計画を下回っているが、医療支援センター等による連携の強化等の取組を行っており、全体としては年度計画を順調に実施していると認められる。〕
			イ 地域連携クリニカルパスの運用拡大	71	4 (3)	4 (3)	地域の医療機関との連携を進め、地域連携クリニカルパスの運用件数が増加するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。 〔・地域連携クリニカルパスの運用件数実績 令和5年度：1,154件、令和6年度：1,374件〕
			ウ 安佐市民病院の認知症疾患医療センター（地域型）の開設・運用	72	4 (3)	4 (3)	軽度認知症等に対して抗アミロイドβ抗体薬による治療を開始し、市内の医療機関では最多の治療を行うなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
			エ 重症心身障害児（者）に係る地域の医療機関等との連携	72	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(2) 地域の医療機関への支援	ア 高度医療機器の共同利用	73	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 安佐医師会病院への支援	74	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			ウ 安佐市民病院の地域完結型医療の提供	75	4 (3)	4 (3)	新たに2つの医療機関に医師を派遣するなど、年度計画を上回って業務を実施しているため、「4」と評価した。
		(3) 保健機関、福祉機関との連携	ア 保健機関、福祉機関との連携	77	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			イ 地域包括ケアシステムの構成員として担う役割	78	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% (2項目／2項目)	5 市立病院間の連携の強化	(1) 一つの病院群としての病院運営の推進	81	4	4	市立病院が相互に連携するための取組を実施した。特に、舟入市民病院において、広島市民病院で急性期医療を終えた患者やMRⅠ検査患者の受入れを進め、昨年より増加した。その取組が年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。 〔・舟入市民病院における広島市民病院からの受入実績 入院等患者 令和5年度：3,465人⇒令和6年度：4,875人 MRⅠ検査 令和5年度： 554人⇒令和6年度：895人〕
			(2) 広島市立病院機構医療情報システムの運用	83	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	大項目評価「4」 「3」～「5」の小項目評価の割合 100% (1項目／1項目)	6 保健、医療、福祉、教育に係る行政分野への協力	保健、医療、福祉、教育に係る行政分野への協力	84	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。

区 分	大項目	小項目		P	法人 自己評価	市長による 評価(案)	小項目評価のコメント等 ※ 括弧書きは補足事項	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	1 業務運営体制の確立	(1) 迅速かつ的確な組織運営		86	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
		(2) 業務改善に取り組む風土づくり		86	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
		(3) DXを活用した病院運営の効率化等		87	4	4	安佐市民病院において、RPAのシナリオを約200件作成し、職員の作業時間を大きく削減するとともに、安佐市民病院の職員が講師となって研修会を開催し、他の3病院においてもシナリオを作成するなど、年度計画を上回っていると認められるため、「4」と評価した。	
	2 人材の確保、育成	(1) 病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材確保	ア 診療体制の充実	89	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			イ 多様な採用方法と雇用形態の活用	90	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			ウ 医師確保の推進	90	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			エ 看護師等の確保の推進	92	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			オ 看護師等の安定的な職場定着の推進	94	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			カ 病院間の人事交流の推進	95	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			(2) 事務職員の専門性の向上		96	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
		(3) 研修の充実	ア 多様な研修機会の提供と参加しやすい環境づくり	96	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			イ 看護師に対する指導・研修の充実	98	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			3 弾力的な予算の執行、組織の見直し	弾力的な予算の執行、組織の見直し		102	3	3
	4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり	(1) 病院の実態に即した人事・給与制度の構築			103	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
			(2) 適切な役割分担と業務の負担軽減			104	3	3
		(3) ワーク・ライフ・バランスの推進	ア 育児・介護と仕事との両立の支援	104	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
			イ 長時間労働の是正	105	4	4	昨年度比2.9%の時間外勤務を削減するなど、年度計画を上回っているため、「4」と評価した。 〔・時間外勤務 広島市民病院 昨年度：350,948時間⇒実績：344,238時間 安佐市民病院 昨年度：228,037時間⇒実績：221,016時間 舟入市民病院 昨年度：22,493時間⇒実績：19,974時間 リハビリテーション病院 昨年度：10,219時間⇒実績：8,612時間〕	
			ウ 年次有給休暇の取得促進	106	2 (3)	2 (3)	一部の医師において、年次有給休暇の取得義務日数を達成できなかったため、「2」と評価した。	
		(4) メンタルヘルス対策の実施			107	3	2	メンタルヘルスの研修やハラスメント相談員の配置など、意識啓発や対策強化の取組について、昨年に続いて実施していることは認められるが、職員のパワーハラスメントによる懲戒処分事案が1件発生したため、「2」と評価した。 〔・パワーハラスメント概要 内容：暴言、暴力等 処分対象者：2名〕
(5) 医師等の働き方改革の推進				108	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
5 外部評価等の活用		外部評価等の活用		110	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。	
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置		経営の安定化の推進	(1) 中期目標期間中の経常収支の黒字化		111	2	2	経常収支比率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 〔・経常収支比率 年度計画：100.2%⇒実績：95.1%〕
			(2) 診療科別・部門別の収支状況の把握と迅速な対応		112	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。
	(3) 経費の削減			113	4 (3)	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。 〔 現下の物価高騰や人件費の上昇に対し、現行の診療報酬改定の仕組みが対応できていないという構造的な課題がある中で、時間外勤務の削減などに努めているものの、給与費対医業収益等比率が年度計画を下回っていることなどから、自己評価は「4」であるが、「3」と下方評価した。 〕	
	(4) 収入の確保			115	3 (2)	2	すべての病院の病床利用率が年度計画を下回っているため、「2」と評価した。 〔・病床利用率 広島市民病院 年度計画：90.0%⇒実績：84.0% 安佐市民病院 年度計画：95.2%⇒実績：86.6% 舟入市民病院 年度計画：73.4%⇒実績：65.7% リハビリテーション病院 年度計画：96.2%⇒実績：92.5%〕	
	第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	広域的な医療提供体制に係る調査・研究	広域的な医療提供体制に係る調査・研究		119	3	3	年度計画を順調に実施しているため、「3」と評価した。